

観光DXの推進について

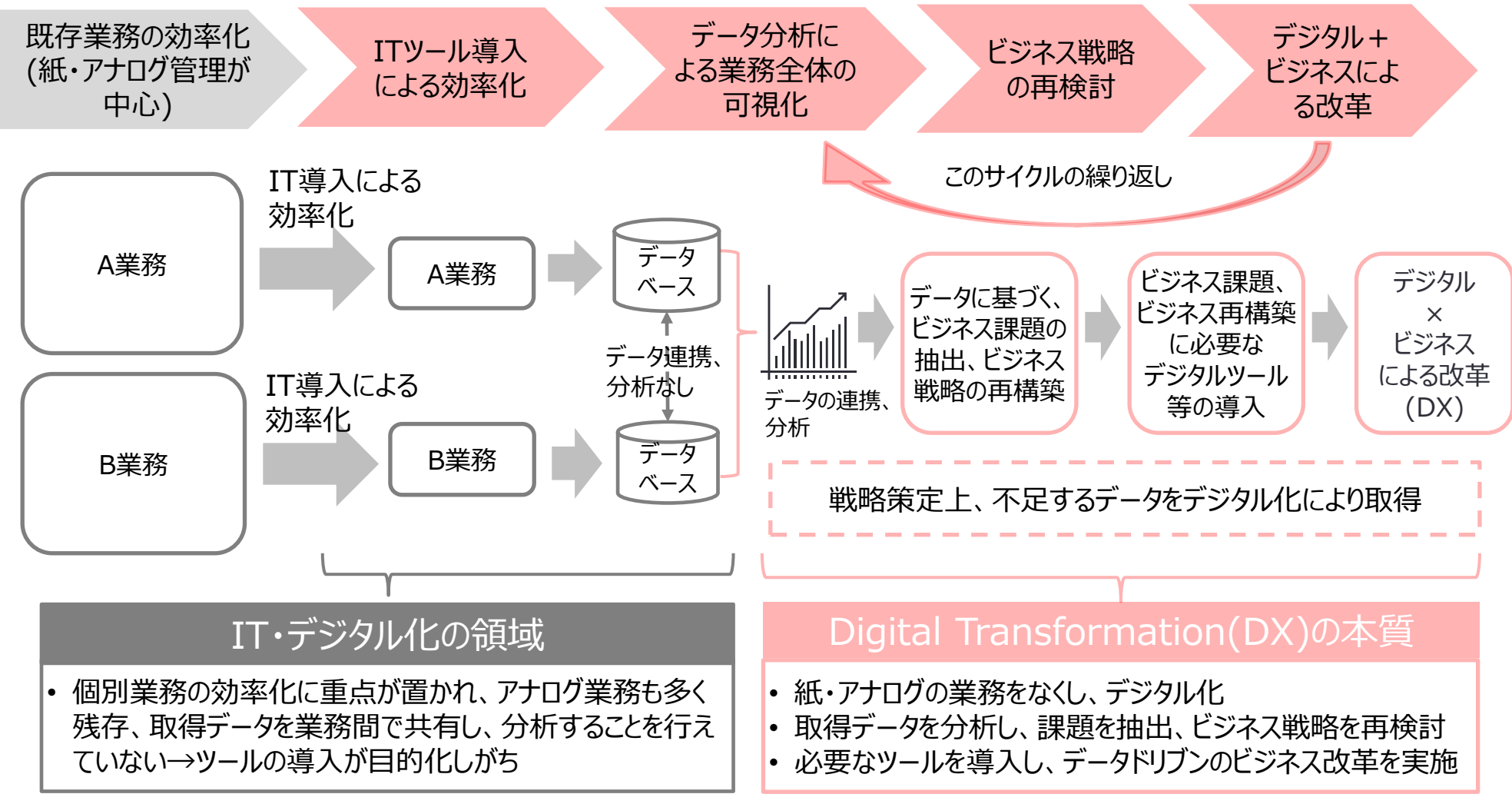
令和7年8月1日

観光庁 観光産業課 宿泊業活性化調整室

両角 恵一

DX(Digital Transformation)とは

○DXとは、業務のデジタル化により効率化を図るだけでなく、デジタル化により収集可能となったデータの分析、利活用によりビジネス戦略を再検討し新たなビジネスモデルを創出する等、変革を図るものとの位置付け。



観光分野におけるDX推進

- 人口減少が進む我が国において、国内外との交流を生み出す観光は、地方創生の切り札。
- 観光分野のDXを推進し、旅行者の消費拡大、再来訪促進、観光産業の収益・生産性向上等を図り、稼ぐ地域を創出。
- 事業者間・地域間のデータ連携の強化により広域で収益の最大化を図ることで、地域活性化・持続可能な経済社会を実現。

旅行者の利便性向上 周遊促進

○ ウェブサイトやOTA等による情報発信の徹底とシームレスに宿泊、交通、体験等に係る予約・決済が可能な地域サイト構築による利便性向上・消費拡大



（出典：京都観光Navi）

○その時・その場所・その人に応じたレコメンドの提供による周遊促進・消費拡大

観光産業の生産性向上

○顧客予約管理システム（PMS）の導入徹底による情報管理の高度化、経営資源の適正な配分



（出典：旅館陣屋）

○PMSやOTA等で扱うデータの仕様統一化による連携の促進

○地域単位での予約情報や販売価格等の共有（API等によるデータ連携）によるレベニューマネジメントの実施、収益向上

観光地経営の高度化

○デジタル化・DXに係る方針を盛り込んだ観光地経営の戦略策定

○旅行者の移動・宿泊・購買データ等を用いたマーケティング（CRM）による再来訪促進、消費拡大



（出典：気仙沼クルーカードアプリ）

○DMP（データマネジメントプラットフォーム）の活用による誘客促進・消費拡大

観光デジタル人材の育成・活用

○観光地域づくりを牽引する人材に必要な知識・技能の修得に向けた産学連携の抜本強化によるリカレント教育の推進

○観光地域づくり法人（DMO）等を中心とした地域における観光デジタル人材の育成・活用支援（外部の専門家派遣に加え、プロパー人材の新規採用を含めた支援策の強化等）



（出典：DMO）

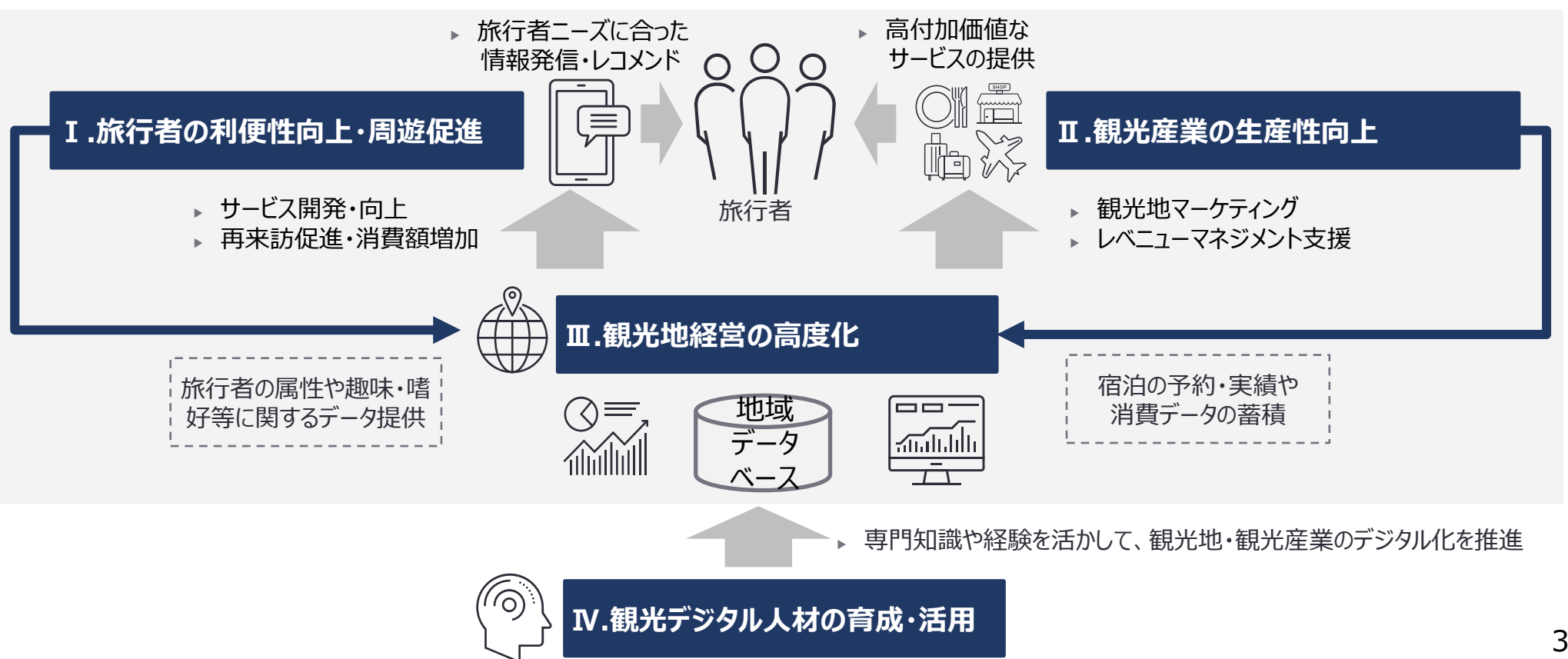
事業者間・地域間のデータ連携の強化により、広域で収益を最大化

⇒ 地域活性化・持続可能な経済社会を実現



観光分野におけるDX推進の意義

- 人口減少が進む我が国において、国内外との交流を生み出す観光は、地方創生の切り札。
- 観光分野のDXを推進し、旅行者の消費拡大、再来訪促進、観光産業の収益・生産性向上等を図り、稼ぐ地域を創出。
- 事業者間・地域間のデータ連携の強化により広域で収益の最大化を図ることで、地域活性化・持続可能な経済社会を実現。
- 観光地・観光産業においては、連携により効果の最大化を図る領域と、地域の特性や地域内の事業者の状況に合わせて個別に創意工夫する領域とを見極めつつ推進することが重要。

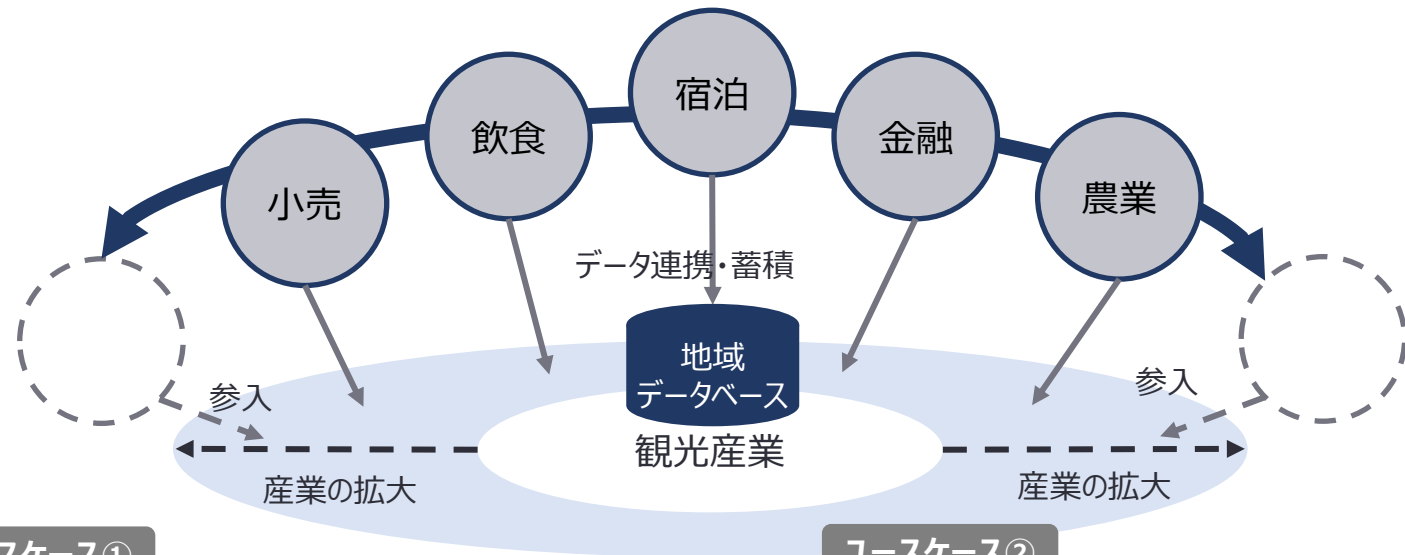


新たな産業の参入に向けた観光地のデータ活用

- 観光DXを契機に、地域に他の産業を含めたデータが集積されることで、地域インフラとしてのデータベースが実現し、事業者間・地域間でのデータ連携、外部からの投資等によるイノベーションにより、地域活性化・持続可能な経済社会を実現することが重要。

観光DXで
推進される
地域のデー
タベース

- ▶ すそ野の広い観光産業に、新たな産業が参入することで、観光産業を中心とした重要な地域インフラとなる可能性を持つ
- ▶ 観光地が持つデータのオープン化を通じて、産業・企業・スタートアップ等の新規参入を促すイノベーションの中心になる可能性を持つ



新たな産業
の参入イ
メージ

ユースケース①

地域(DMO等)によるデータ戦略により、
域内事業者の供給増を促進

- ▶ 地域(DMO等)が地域内の宿泊人数を3年後に1.5倍に引き上げを計画
- ▶ それに加え、域内事業者との合意形成により、域内の農産品の調達率を1.3倍引き上げを模索
- ▶ 農業関連事業者も、DMOと一体となり、域内調達率1.3倍の引き上げを見込み、生産能力も1.3～1.5倍に引き上げを調整

ユースケース②

市場規模の把握等により、
異業種や外部からの投資を誘発

- ▶ 地域内の市場の状況が可視化されることから、観光による地域の市場の拡大を把握(例：過去3年で2倍の成長)
- ▶ 地域の取組に賛同し、新たな事業機会を模索した新規参入事業者にとって、市場規模がある程度可視化され、旅行者の流入状況がわかれば、投資しやすい環境に

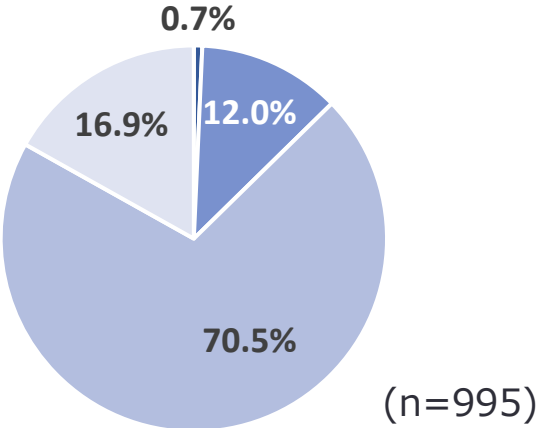
宿泊施設におけるデジタル化の現状

業務のIT・デジタル化に対応している宿泊施設が約90%を占めていますが、約80%の宿泊施設ではIT・デジタル化に対応している箇所が業務全体の50%未満にとどまる状況です。

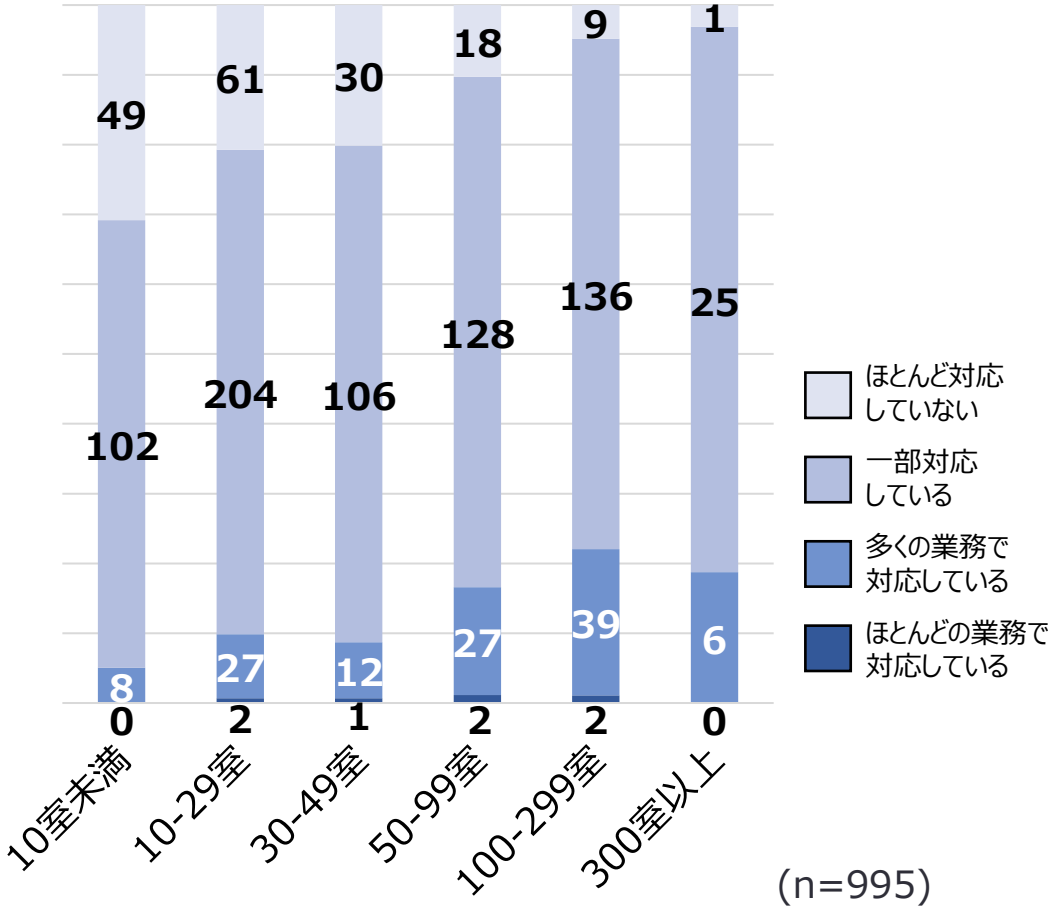
質問：業務全体の中で、IT・デジタル化されている業務の割合を教えてください。

〈全体の割合〉

選択肢	回答数	回答割合
ほとんどの業務で対応している (業務全体の80%以上)	7	0.7%
多くの業務で対応している (業務全体の50～80%未満)	119	12.0%
一部対応している (業務全体の10～50%未満)	701	70.5%
ほとんど対応していない (業務全体の10%未満)	168	16.9%
合計	995	100.0%



〈客室数ごとの割合〉

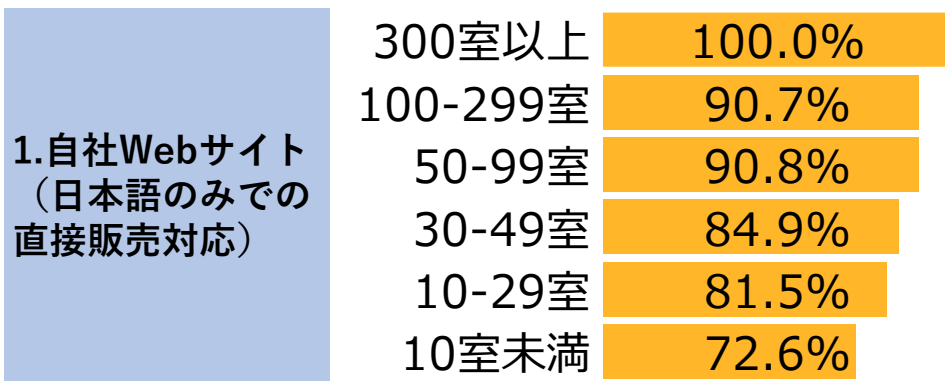


宿泊施設におけるデジタルツール導入の現状（1/3）

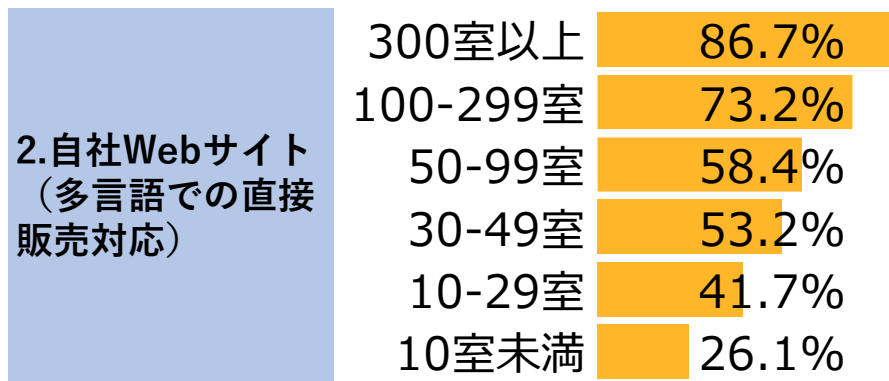
自社Webサイト及びOTAともに、国内向けの販売対応に関しては全ての客室数の規模において70%以上の宿泊施設が導入しています。海外向けの販売対応に関しては、客室数の規模が小さくなるにつれて導入割合が低くなる傾向はあるものの、客室数が大きい宿泊施設を中心に導入されている状況です。

質問：以下の各「情報発信・集客・販売チャネル関連のデジタルツール」に関して、現在の導入状況を教えてください。

国内向けの販売対応



海外向けの販売対応

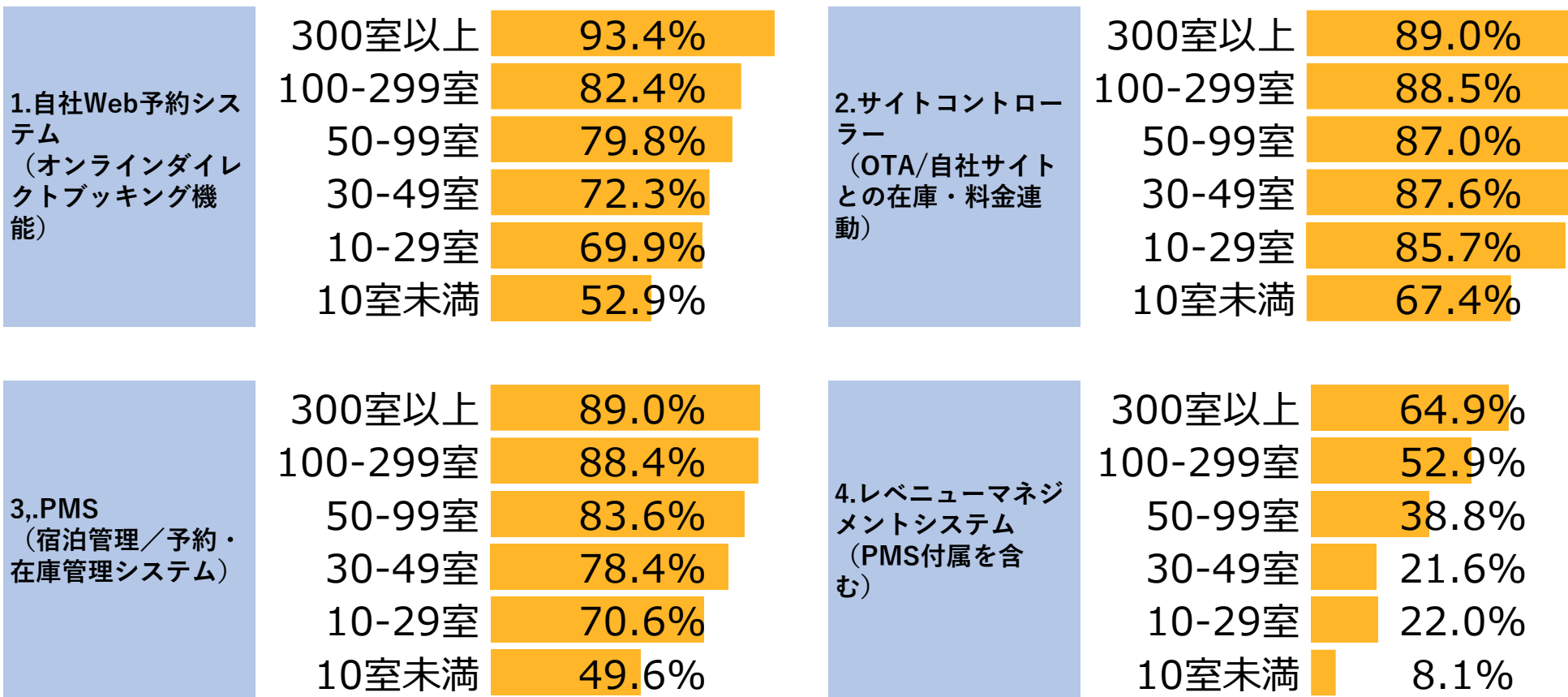


(n=995)

宿泊施設におけるデジタルツール導入の現状（2/3）

自社Web予約システム・サイトコントローラー・PMSは、全ての客室数の規模において50%以上宿泊施設が導入しています。レベニューマネジメントシステムは、客室数が小さくなるにつれて導入割合が低くなる傾向はあるものの、客室数が大きい宿泊施設を中心に導入されている状況です。

質問：以下の各「予約および料金管理に関するツール」に関して、現在の導入状況を教えてください。

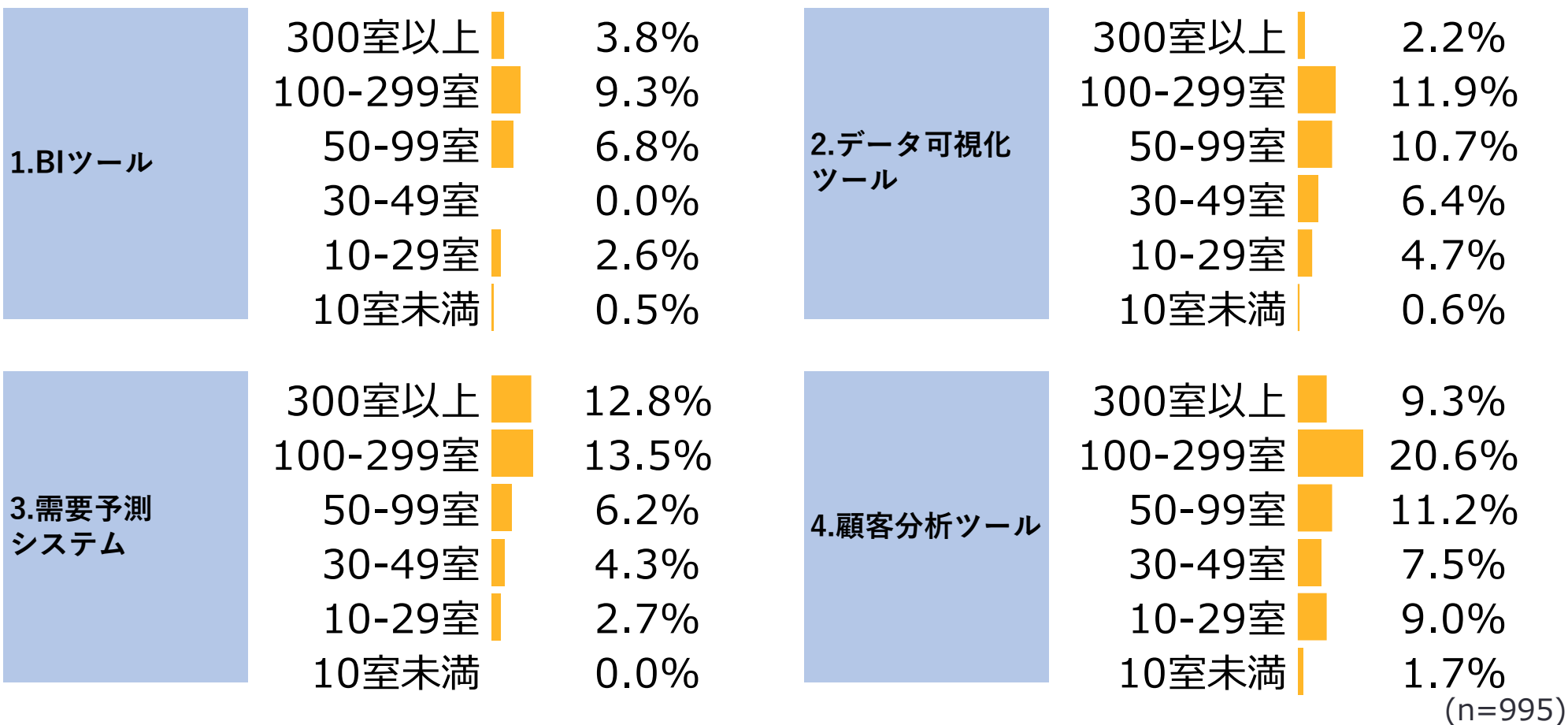


(n=995)

宿泊施設におけるデジタルツール導入の現状（3/3）

「情報発信・集客・販売チャネル関連のデジタルツール」や「予約および料金管理に関するツール」は比較的多くの宿泊施設で導入されている一方で、「データ分析・活用に関わるツール」の導入状況は宿泊施設の客室数の規模に関わらず総じて低い傾向がみられます。

質問：以下の各「データ分析・活用に関わるツール」に関して、現在の導入状況を教えてください。



事業目的・背景・課題

- インバウンドをはじめとする観光需要の急速な回復を踏まえ、全国的に「稼げる地域・稼げる産業」を実現するため、DXの推進を通じた、コンテンツの販路拡大、予約・在庫管理の最適化による収益・生産性向上に加え、観光地経営の高度化による地域全体の消費拡大、誘客・再来訪促進等を図る必要がある。
- 持続可能な観光地域づくりに向けて、全国の観光地のコンテンツの販路拡大・観光産業の生産性向上に資するデジタルツールの導入支援や、データを活用した地域活性化モデルの構築等を実施する。

事業内容

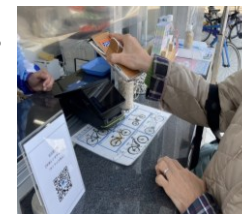
- ①観光地のコンテンツの販路拡大・観光産業の生産性向上等に向けた支援
観光地のコンテンツの販路拡大・マーケティング強化やレベニューマネジメント推進等による観光産業の収益・生産性向上に向けた地域一体でのデジタルツール導入を支援。
- ②専門人材による伴走支援
DX活用に向けた計画策定、デジタルツールの導入、導入後の活用等において、持続可能な観光地域づくりに向けた専門人材による伴走支援を実施。
- ③データを活用した地域活性化モデル
旅行者の移動・決済、観光産業の宿泊・予約等のデータをDMP等を用いて収集・蓄積し、生成AIの技術の活用やオープンデータ化の取組等を通じて、地域全体の消費拡大や地域活性化の好循環に取り組むモデルを創出する。
- ④観光地域づくり法人（DMO）の経営戦略策定に向けたデータ活用モデル
訪日外国人旅行者の地方誘客を促進するため、登録DMOがインバウンドデータ等を収集、分析してDMOの経営戦略策定につなげる基礎的で汎用的なモデルを創出する。

事業スキーム

事業形態：①②間接補助事業(①上限1,500万円、補助率1/2、②定額(上限800万円))、③④直轄事業
補助対象・請負先：①②国→民間事業者(事務局)→DMO・地方公共団体・民間事業者等、③④民間事業者(コンソーシアム)
事業期間：令和6年度～

事業イメージ

デジタルツールの導入支援



キャッシュレス
決済



体験・アクティビティ
予約・在庫管理

専門人材による伴走支援



DX活用に向けた計画策定・伴走支援